投資事業評価調書(新規)

 課室名
 道路保全課
 記入責任者職氏名
 道路保全課長 竹谷 徹 内線 4389

 (担当者氏名)
 (土居 康成)

		事業名	事業名事業区間				
事業種目	交通安全	特定交通安全施設等	多可郡黒田	庄町前坂		約 5.5 億円	
	施設整備	整備事業			総事業費	(内用地補償費	
		(-)黒田庄滝野線				約2億円)	
所 在 地					着工予定年度	完成予定年度	
多可郡黒田庄町前坂					平成 16 年度	平成 19 年度	
事業目的				事業内容			
交通安全対策							
・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し、歩車分 自転車歩行者道整備(片側)							
離を図り、交通安全対策を推進する。				L = 1 , 3 9 0 m			
				W = 3 . 0 (3 . 5) m			
				<現況>			
				歩道なし			
評価視点							
(1)必要性							
快適性	・ゆとり	・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。					
		(自動車 3,127 台/日、歩行者 31 人/日、自転車 460 台/日)					
		・過去5年間に歩行者、自転車の交通事故件数(2件)。					
		・死傷事故率(84 人/億台 k m)					
		・周辺には黒田庄中学校(約 250m) あゆみ保育園(約 80m) 中央公民					
		館(約 250m), 福祉センター(約 250m), 農村勤労福祉センター(約 250m)					
		住民運動場(約 100m) 商工会館(約 350m)等があり、中学校への通学					
		だけでなく施設利用等の多様な通行状況である。					
		・黒田庄中学校への通学路に指定されている。					
		・住民参加による交通安全総点検を実施し、自転車歩行者道の設置の必要					
		性が指摘された。					
		・連続性の確保(前後の整備状況・・・起終点とも整備済み)。					
		・幅広歩道の整備(3.5m)。					
(2)有効性	(2)有効性・効率性						
・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。							
	・円滑な用地取得に向けて、黒田庄町と用地取得体制に関する協議済み						
(3)環境適	合性	・透水性舗装の採用により、雨水の地下への還元が図れる。					
(4)優先性	 優先性						
(1)设力山工							
						·	
文通事成が完全が認念されるため、十念に白報事の刊句。				ローンコロに	<u>~~ 正 tm で 口 フ</u>		
		元女けのる 。					